



# 未来をひらく



## 平成28年度 北九州 子どもの未来をひらく教育セミナー開催!!

8月10日、アルモニーサンク北九州ソレイユホールにおいて、本市教育プランの推進に向け、教育施策について、広く市民の皆様が発信することを目的として、「平成28年度 北九州 子どもの未来をひらく教育セミナー」を開催しました。

今年度も、児童生徒、教職員をはじめ、市民の方々など、延べ1,625名が参加し、大盛況となった、このセミナーの様子をご紹介します。



### ACTION 1 子どもの未来をひらく教育セミナー ～夢の実現(企業就労に向けて)～

本市には市立特別支援学校が8校設置されており、将来の一般企業等への就労や自立を目指して努力する生徒がたくさんいます。各校では、こうした生徒を支援するため、作業学習内容の充実や就労支援コーディネーターによる実習先や職域の開拓など、様々な取り組みを行っています。

今回の教育セミナーでは、学校・園の関係者、企業、市民の皆さんに対して、知的障害特別支援学校(高等部)における企業就労に向けた取り組み、企業を対象とした「特別支援学校生徒雇用促進セミナー」の様子、アビリンピック(全国障害者技能競技大会)での成果等について紹介しました。終了後のアンケートでは、「受け入れる側の企業等の社会の体制づくりが最も大切」「障害者と健常者が共生できる社会を望む」「企業就労できるように保護者として協力したい」等の意見をいただきました。

今後とも、教育委員会では、障害者差別解消法の趣旨等も十分に踏まえた上で、障害のある子どもも障害のない子どもも、自分らしく生き生きと生活できる共生社会の実現に向けて、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の更なる充実を図っていきます。

また、子どもたちの地域での社会生活や就労の安定等に向けた支援体制の強化について関係局と連携して取り組み、企業や市民の皆さんの障害者理解の促進にもつなげていきたいと考えています。

引き続き、格別のご理解とご支援のほどよろしくお願いいたします。



### ACTION 2 子どもの未来をひらく教育セミナー ～守ろう!育もう!シビックプライド～

ここでは、わがまち「北九州」への誇りやよさを再認識し、これからの学校教育等において、シビックプライドの醸成と関連付けた取組の充実を図ることを目的として、まちの魅力や伝統などへの理解を深める教育施策や、現状の学校での取組について紹介したり、本市の自慢についてクイズを行ったりしました。

また、北九州市の文化大使であり、シンガーソングライターとしてご活躍中の富永裕輔氏からいただいたビデオメッセージを上映し、最後に1枚の写真で表現した各学校(園)の特色を、富永氏の「ひまわりの花」の曲にのせてスライドショーを行いました。メッセージでは、「夢に向かってチャレンジして、いい経験を積んでもらいたい。ふるさとへの誇り、感謝、そして勇気があれば夢をかなえる原動力となる。それがシビックプライドだと思う。」と、私たちに力強いメッセージをくださいました。

セミナー終了後の感想では、「北九州の魅力が改めてわかった」など、数多くの感想が見られました。子どもたちにとって、わが町、ふるさと北九州への誇りや愛情を深めるためのさまざまな取組が行われていることが理解できた発表でした。



**ACTION 3**

子どもの未来をひらく教育セミナー  
～環境未来都市「私たちの実践」～



北九州市では、子どもたちが環境に関して持続可能な社会の構築につながる見方や考え方を育み、よりよい環境の創造や保全のために主体的に取り組む態度や能力を育成することができるよう、様々な取り組みを行っています。

子どもの未来をひらく教育セミナーの中では、その取り組みの説明と、実際に取り組んでいる子どもたちによる報告を行いました。

◎ 本市の環境教育の施策について ◎

(1) わが街わが校の環境作戦

学校・園において特色ある環境教育を推進し、ホームページで実践の紹介をしています。

(2) 環境アクティブ・ラーニング

小学校第4学年を対象として、すばらしい自然に直接触れたり、環境教育関連施設を活用した体験活動をしたりする学習を総合的な学習の時間の中で実施することで環境の保全に主体的に取り組む基盤となる環境保全への関心・意欲の喚起を図ります。

(3) 北九州市環境リサーチ隊

市内の小学校5年生から中学校1年生を対象とした3日間の環境体験プログラムを通して、持続可能な社会づくりの担い手となる環境リーダーを育てます。

(4) 北九州市ユネスコスクール推進指定校

北九州市ユネスコスクール推進指定校として小学校8校、中学校7校を指定し、持続可能な開発のための教育(ESD)の視点を踏まえ、各学校の特色を活かした環境教育等の推進と充実を図ります。



◎ 環境リサーチ隊の発表より ◎

環境リサーチ隊の活動を通じて私たちにできることを考えた結果、「特別なことではなく、まず自分が環境のためにできることをしよう」「自然のすばらしさ、環境を守ることの大切さを一人でも多くの人に知ってもらおう」という2点にまとまりました。私はこの2点を自ら実行し、世界に誇れる北九州市にしていきたいです。みなさんも私たちと一緒に身近な環境のことを考え、できることから実行していきましょう。

◎ 平成28年度 北九州市環境リサーチ隊 ◎

～世界に誇る「環境未来都市」北九州市の環境を学び、共に行動する環境リーダーになろう～をスローガンに、曾根干潟、紫川、エコタウンなどで3日間にわたって体験活動を行った内容を報告しました。また、体験を通じて感じたことや考えたこと、子ども環境リーダーとしての決意など、多くの人に伝えたいことを発表しました。

◎ 北九州市ユネスコスクール推進指定校 大蔵小学校による実践発表 ◎



◎ 大蔵小学校の実践発表より ◎

私たちの校区を流れる大蔵川は、槻田川と合流し、板櫃川へとつながっていきます。3つの川の近くには9つの小学校があります。川でつながっているこの9つの学校で少しずつの取組をスタートして交流し合うことができれば、もっともっと川はきれいになっていくと思います。まずは板櫃川の上流は、ぼくたち大蔵小学校が守ります。そしてぼくたちができることは何かを考え続けていきます。

豊かな自然に囲まれた大蔵小学校の校区では、地域の方々も自然に対する関心が高く、約20年前から地域を流れる大蔵川をきれいにする取組が行われています。その大蔵川のことをより深く学ぼうと、地域の方へのインタビューを行ったり、川の専門家の指導のもと川の調査を行ったりしてきた内容を発表しました。

また、同じく校区の川について学習しているすがお小学校と交わっているビデオレターの紹介もありました。学んでいく中で、大蔵川に対する愛着が増していったことが伝わってきました。

**ACTION 4**

子どもの未来をひらく教育セミナー  
～いじめ防止サミット in 北九州～

市内131校の小学校と63校の中学校から代表児童生徒が各2名ずつ集まり、市内小・中・特別支援学校でいじめ防止に向け取り組む内容について話し合いました。

このサミットを開催するにあたり、各区の小・中学校から代表各1名、計14名で実行委員会を組織し、4月から3回の会議を開き、サミットを成功させるために話し合いました。その中から、今年の議題「あいさつ運動の継続をどのようにしていくか」「教室を楽しくて、心が落ち着く場所にするためには、どんな取組をしたらよいだろうか」が決まりました。

サミット当日は、まず午前中に、思永中学校の教室において、20グループに分かれ、活発な意見交換を行った後、午後から会場をアルモニーサンク北九州ソレイユホールに移し、全体会議を行いました。

全体会議では、今年度の取組として、「あいさつ運動を意識するため、のぼりや横断幕を作ること」と「掃除を一生懸命にして教室を心が落ち着く場所にする」が決まりました。また、それぞれの学校が行っている取組を継続し、他の学校のよい取組を取り入れることや昨年度の取組(スローガン、宣言文、クローバーキャンペーン、いじめを生まないスマートフォンや携帯電話の使い方)を今後も継続していくことが決まりました。サミットの最後には、実行委員長の呼びかけで、来場者が大きな声でスローガンを唱和しました。参加者全員が「いじめをなくす、生まない」という気持ちを確認して閉会することができました。

子どもたちのよりよい未来をひらくために、今回決まった取組が広がっていくよう、保護者や地域の皆様のご協力をお願いします。



平成28年度 新体力テストの全学年・全種目実施について

調査

体育・保健体育科の各領域で身に付けた力や、その他の運動で身に付けた力等を測定するため、文部科学省(スポーツ庁)が定めている「新体力テスト」について、平成28年度から6～7月に全学年で全種目実施し、経年での児童生徒の実態を把握し、きめ細やかな指導に生かすこととしました。

種目 (8種目)

- ① 握力
- ② 上体起こし
- ③ 長座体前屈
- ④ 反復横とび
- ⑤ 20mシャトルラン (中学校は代わりに持久走を選択可能)
- ⑥ 50m走
- ⑦ 立ち幅跳び
- ⑧ ソフトボール投げ



調査結果の公表と活用

調査結果については、各学校のホームページでお知らせします。なお、本市と各学校では調査結果を受けて、今後の教育活動の充実や改善に向けた取組を行い、子どもの体力の向上と豊かなスポーツライフの実現を図ってまいります。ご家庭におきましても、生活習慣や運動習慣の確立に向け、ご協力をお願いします。

ENGLISH CAMP

第3回 “Do your best!” English Camp開催

“Do your best!”を合言葉に、8月1日(月)～3日(水)の2泊3日、若松区にある玄海青年の家において、第3回イングリッシュキャンプを開催しました。外国人と交流しながら、2泊3日の英語生活を楽しく体験し、積極的にコミュニケーションを図り、自分の英語力を高めるために、市内中学生77名が参加しました。

1日目、緊張と不安な様子をうかべながら、77名の参加者が、玄海青年の家に集まってきました。手作りの「北九州パスポート」を使い、ALT(外国語指導助手)から、英語で一問一答の入国審査を受け、いよいよイングリッシュキャンプがスタートしました。

3日間の主なプログラムは、

- ALTが英語で行う授業体験(技術・美術・体育など)
- 英語ウォークラリー(チェックポイントでは英語の問題を解く。)
- 英語グループプレゼンテーション(北九州市の名所紹介) など、

基本的には英語で生活することに、2日目以降は徐々に慣れてきて、積極的にALTや英語科教員と英語で会話する様子が見られました。

最終日には、各グループにおいて、プレゼンテーションを行い、充実感溢れる中、第3回イングリッシュキャンプは幕を閉じました。生徒それぞれの心の中には、「楽しかった」という思いだけでなく、英語学習に対する目標ができ、それに向かって努力する強い思いが生まれたようでした。

イングリッシュキャンプに参加する前は、ちゃんと話せるだろうか…ALTの先生がたが話していることが理解できるだろうか…といろいろと不安でした。～中略～  
将来は英語をたくさん使ったり、外国の人たちと係わったりする仕事に就こうと考えています。ALTの先生がたと話をしていると、さらにその思いがよくなりました。

このイングリッシュキャンプで私が学んだことは、積極的に英語を使って話すということが楽しいということ、海外の人と英語で意見を交わすことが楽しいということ、そして自分の考えを英語で伝えることが大切だということです。

これからも積極的に英語を勉強し、“Do your best!”をモットーに頑張りたいです。

～生徒感想文より～



ていたんの“環境学習レポート”

こんにちは  
ていたんです!  
市内の学校で行われている環境学習を紹介しします!



©ていたん、北九州市

「環境アクティブ・ラーニング」

2面の「子どもの未来をひらく教育セミナー～環境未来都市「私たちの実践」～」でも紹介したように、本市では、市内全校の小学校4年生を対象とした体験学習「環境アクティブ・ラーニング」を行っています。

工業都市のイメージが強い北九州市ですが、表情に富んだ豊かな自然に恵まれています。また、公害を克服した歴史があり、低炭素社会や循環型社会に向けての取組は、世界に誇るものがあります。しかし、子どもたちは、そのすばらしさを十分に実感できていないとも言えません。

そこで、市内のすばらしい自然(山田緑地、平尾台自然の郷、響灘ビオトープ)に直接触れたり、環境教育関連施設(いのちのたび博物館、環境ミュージアム、エコタウン、日明浄化センター内ビジターセンター)を活用した、体験活動を行ったりする学習を総合的な学習の時間の中に位置付けています。実際に体験することで北九州市のすばらしさに気づき、環境保全のために自分たちができることを考える機会となっています。



アウトリーチ事業

「アウトリーチ」とは、演奏家や専門家などが直接学校へ出向き、子ども達に直接その文化や芸術のよさを実技や実習等を交えて伝えていくものです。

今年度は、中学校を対象とした「中学校音楽科における箏の授業支援」を行っています。中学校で、よりよい箏の体験授業が行えるように、北九州市内の学校にある箏のメンテナンス、授業に必要な数の楽器の運搬や設置を行ったり、授業に支援員を派遣して音楽科の先生をサポートしたりしています。

今年度は14校の中学校で実施しています。また、今後小中学校20校を対象に、伝統文化を体験する「伝統文化体験モデル事業」の実施も予定しています。



教育委員・新任のご挨拶



本年4月1日付で本市教育委員を拝命しました清成 真希です。就任して数カ月ではありますが、特別支援教育、規則改正、教科書採択、各種委員の委嘱、人事等、教育行政全般にわたる教育委員会会議を経る中で、教育行政を担う者としての職責の重さに身の引き締まる思いで研鑽を積む日々です。

現在、私は、3児の親として、教育の難しさに反省と自己嫌悪をくり返しながらも、日々成長していく子どもたちに勉強させられ、癒され、励まされております。親として子育てに関する悩みを共有できるよう保護者の方々との意見交換の場を積極的に設けていきたいと考えております。

仕事上は、これまで弁護士として、少年事件等において子どもの複雑な心理に触れる機会を与えられてきました。子どもは周囲に影響を受けやすいため、非行に走ることもある反面、家庭環境等の社会資源を調整することで更生の道を歩みます。私は、子どもたちの健全な成長のために、地域、学校、家庭が有機的に結びつき、より多くの有益な社会資源を子どもたちに提供できるような社会の構築に向け尽力していく所存です。

公職選挙法の改正によって、今年から選挙権の年齢が18歳に引き下げられたこともあり、今後、子どもたちは早い段階から政治や法律について学ぶ機会が増えることと思います。しかしながら、慌てて政治や法律の仕組みを覚える必要はありません。「法は最低限の道徳」と言われるように、まずは義務教育課程において、子どもたちが「いじめの問題」「差別の問題」「戦争と平和」など道徳と倫理についてしっかりと学んでいくことが主権者としての成長にとって最も重要であると考えます。その意味で、本市の教育施策の一つである「心の育ちの推進」について、私自身のこれまでの経験を生かしつつ、学校関係者だけでなく、保護者や地域の方々のご意見とご協力を仰ぎながら、一層の充実と発展を目指していきたいと考えております。

本市、そして日本の未来をひらく子どもたちのために、教育委員としての職責を全うすべく奮励努力する所存ですので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

「教師のしおり」が新しくなりました!!

新たな時代に対応した教師力を身に付けるための、「教師のしおり」を8年ぶりに改訂しました。

このしおりを新採教諭研修や五年次までの経年研修、各校の校内研修で活用し、これからの時代の教員に求められる資質能力の向上を目指すとともに、これまで本市において受け継がれてきた、教師としてのあり方や指導方法など、優れた教師文化の継承を図ります。



DVD編に資料満載!

教育センターで行っている自主講座「木曜ミニ教室」の中から9講座を厳選し、ダイジェスト版にした動画を収録しています。また、各教科の学習指導案、教育研究論文、教育づくり、環境づくりのヒント等が入った、すぐに役立つDVD編を付けました。



わかりやすい見開き2ページ構成!フルカラー印刷で、写真や図をふんだんに使用!

アクティブ・ラーニング対応の授業編新設!「学び合い」の場をピックアップ!

「(仮称)北九州市特別支援教育推進プラン」素案に対するパブリックコメントを募集しています!

本市では、「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」に基づいて特別支援教育を推進してきましたが、多様な教育的ニーズにより適切に対応していくため、特別支援教育に特化した「(仮称)北九州市特別支援教育推進プラン」を策定することになりました。

ついては、下記期間において、市民の皆様のご意見を募集しています。プランをより良いものとするため、皆様のご意見をお待ちしています!

意見募集期間 平成28年9月15日(木)~10月14日(金)

プラン素案の閲覧・配布場所

- 教育委員会特別支援教育課(小倉北区役所7階)
- 市民文化スポーツ広場聴課(市役所1階)
- 各区役所総務企画課・出張所
- 市民センター
- 生涯学習センター
- 市ホームページ(www.city.kitakyushu.lg.jp)

問合せ先 教育委員会特別支援教育課 TEL 582-3448

教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

教育委員会では、「子どもの未来をひらく教育プラン」に掲載された施策について、毎年度、点検・評価し、その結果を議会に報告するとともに、市のホームページで公表しています。

今年度の評価結果(平成27年度実績)は、全10施策のうち、A評価(大変順調)が「地域と連携した学校運営の実現」、「特別支援教育の充実」の8施策、B評価(順調)が「心の育ちの推進」など8施策でした。

この結果を今後の施策に生かし、効果的な教育行政の推進に努めてまいります。



北九州市教育委員会事務の点検・評価ページ

[http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kyouiku/file\\_0043.html](http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kyouiku/file_0043.html)

北九州市教育委員会のFacebookページを開設しました!

教育委員会の取り組みや学校の活動状況など、教育に関する情報を発信していきますので、ぜひ、「いいね!」により、登録をお願いします。

<https://www.facebook.com/kitakyushucitykyoiku/>

